

問題生態系計測研究会

会長 井上吉雄

幹事 山野博哉

1. 研究会の概要

背景と目的

人間の生活の安全、安心を支える食糧・住環境・生活環境の確保と保全は、農・林・草・都市・水域生態系の構造と機能に直接・間接に大きく依存し、人間活動はこれらの生態系の変化と一体となってダイナミックに変動しています。しかし、近年、特にこれら各種の生態系における土地、水、植生、環境因子等の質と量の劣化が国内および世界各地で顕在化し大きな問題になっています（ここではこれらを問題生態系と総称します）。これらの問題生態系では、時空間的な変動を広域的にとらえ、評価し、変動の要因を解明することが不可欠であるとともに、衛星データによってしか基本データが得られないなどの地域も少なからず存在します。すなわち、リモートセンシングをはじめ GIS・モデル等空間情報技術による計測・評価は、問題生態系の研究と問題解決にきわめて重要な役割を果たすものです。

そこで、本研究会では、陸域・水域にわたって遍在する各種の問題生態系を対象としたリモートセンシング等空間情報技術による計測・評価研究にかかわる横断的な情報交換、国内外の研究連携、学術的提言を進めることを目的とします。それにより、リモートセンシングをはじめとする空間情報技術の多方面への利用促進と問題解決への貢献をめざします。

2. 最近の活動実績

本研究会は、2008年10月に設置され、活動を開始しました。

- ・ 2008年12月3日 キックオフミーティング。今後の活動方針（研究会の進め方、アウトプット等）を検討
- ・ 2008年12月の学術講演会の「特別セッション」ならびにポスター展示において、設置趣旨と以下のような活動方針を紹介し、会員を募りました。
- ・ リモートセンシング学会誌28巻5号「研究会だより」に同様の紹介を掲載しました。
- ・ メーリングリスト、研究会ホームページを立ち上げる準備を進めています。

活動方針

地球上の農・林・草・都市・水域・海域等の広範な生態系のうち、食糧生産・生活環境等の確保と保全に関して特に問題となっている生態系の構造と機能に関する研究取組みを主たる対象とします。リモートセンシング等空間情報技術の活用を通じた、生態系問題の解決に向けた取組み方、手法、データ、人材育成等について、分野横断的な情報の交換ならびに研究連携、学術的提言の促進を進めます。

- 1) メーリングリストを開設し、問題生態系に関する話題を随時議論する。
- 2) ホームページを開設し、学会内外に研究内容や提言等を発信するとともに、オープンな論議を行う。研究会の開催や報告について学会誌やホームページで発信、報告する。
- 3) 広範な生態系問題に関し、具体的なテーマを設定して、随時ワークショップ類を開催する。基本的に春秋の学術講演会開催時に合わせて小集会を持つ予定。
- 4) これらの活動に基づいて、関連各分野の問題に関するレビューの共同執筆や刊行を行うとともに、連携研究や相互支援の促進、国内外のネットワーク形成を図る。

3. 連絡先

山野博哉 e-mail: hyamano@nies.go.jp Tel: 029-850-2477, Fax: 029-850-2219

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 (独) 国立環境研究所

本研究会は、陸域・水域にわたって遍在する各種の問題生態系を対象にしたリモートセンシング等空間情報技術による計測・評価研究にかかわる横断的な情報交換、国内外の研究連携、学術的提言を進めることを目的としています。